

柏西ロータリークラブ

創立：1975年11月 7日
承認：1975年11月24日

四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるか？



第1863回通常例会 (2014.7.25)

会長：日暮肇 幹事：水野晋治

■柏西ロータリークラブURL:<http://kashiwa-nishi-rc.com/>

■第2790地区ロータリークラブURL:<http://www.rid2790.jp/2014/>

1863回通常例会

1. 点 鐘 日暮 肇 会長
1. 会長挨拶 日暮 肇 会長
1. 幹事報告 水野 晋治 幹事
1. 卓 話 嶋田 英明 会員
1. 点 鐘 日暮 肇 会長

会長挨拶

会長 日暮肇



こんにちは。梅雨明けが発表され、一年の内で、最も暑い時期に成っています。挨拶も最近では、暑いですね、口癖に成ってしまいました。

この暑さのせいでしょうか、我が家の庭にあるソテツが、今年初めて花を咲かせました。最初は何故この株だけ葉が出てこないのだろうと思っていたのですが、段々先端が膨らんできたのを見て、これは花ではないのか?と思い、植木屋さんに聞いてみたところ、雄花であるとのことでした。ソテツには別に雌花があり、そのままにしておくとなりがなり、その後二年くらい葉が出ず、枯れてしまう事もあるそうです。

先週は、例会の後クラブ協議会が開催され、五大奉仕部門の各委員長さんから、上半期の活動計画について発表

していただきました。これから一つ一つ実行されていくことと思いますが、それぞれの活動に一人でも多くの会員の皆様に参加して頂きますようお願い致します。早速、明後日柏祭りへクラブとして参加します。宜しくお願い致します。

本日の卓話は、社会奉仕委員長の嶋田英明さんです。嶋田さん宜しくお願い致します。

又、本日は例会終了後、40周年に向けての委員会もごございますので、お忙しい事とは思いますが、委員に成っている方は参加をお願い致します。

幹事報告 幹事 水野晋治

1. ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所
8/11(月)～8/15(金)夏期休暇
2. 例会変更のお知らせ
松戸中央 RC：8/14 (木) 任意休会
3. 受信《活動計画書》柏・湘南・柏東 RC
《ポコアポコ通信》

国語辞典より

社 ①おみや、社

②会社、新聞社

③なかま、団体

会 ①あう、であう

②あつまる、あつまり

③ぴったりする

④だんたい

⑤一定の地域

奉 ①たてまつる、つつしんでする

②つかえる

③たつとび従う

仕 つかえる

仕を分けると

イ → 人

士 → 男の敬称

名士、士君

特別の資格、職業の人

へいたい、さむらい、

学士、博士、文士、弁士、栄養士、計理士、武士、士官、
兵士、代議士、弁護士、建築士、電気工事士、司法書
士、税理士、調理師、自動車整備士、消防士、運転士

社会 → 世間、世の中

奉仕 → 社会、国家、君主、公共の為にすること、奉公

世間 → 仏教で、人間が集って生活する煩悩の世界

社会奉仕委員会

予算 210,000

支出	社会をあかるくする運動	20,000
	柏市社会福祉協議会	10,000
	柏まつり 西口商店会	20,000
	子供におもちゃ配布	60,000
	柏まつり協力金	30,000
	手賀沼マラソン協賛金	10,000
	レイソル年会費	10,000
	手賀沼エコマラソン、大堀川清掃	
	ゴミゼロ 他	50,000
	計	210,000

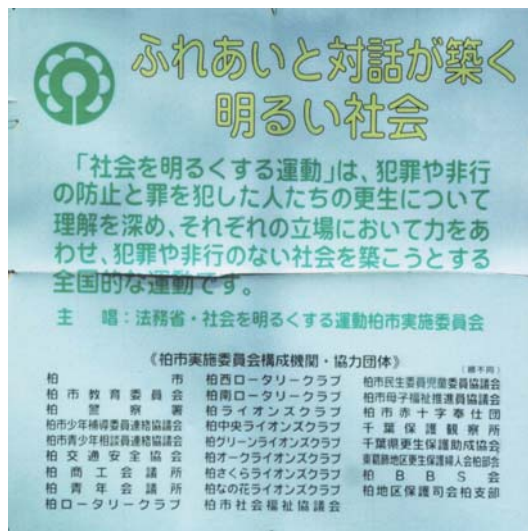
■ 社会福祉協議会とは

「社協」の略称でも知られている社会福祉協議会。

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。昭和26年(1951年)に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づき、設置されています。

社会福祉協議会は、それぞれの都道府県、市区町村で、地域に暮らす皆様のほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動をおこなっています。

たとえば、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。



■ 社会奉仕に関する新声明(決議92)

社会奉仕は、ロータリアン一人一人が「超私の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またRCにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

1. 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域ニーズを検討させること。
2. 社会奉仕プロジェクトを実施するに当たっては、会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かすこと。



■ 奉仕の理想とは

ロータリアンが好んで口にする言葉のひとつに「奉仕の理想」があります。英語ではIdeal of Service となつていますが、日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏がこれを「奉仕の理想」と翻訳し、そのまま今日に至っています。

Ideal of Service (奉仕の理想) は現代語で翻訳すれば、「奉仕理念」ということになります。

ロータリーの綱領や重要なロータリーの文献にもこの「奉仕の理想(理念)」が頻繁に使用されており、日本では同名のロータリーソングとしてもお馴染みの言葉となっています。

しかし、ロータリーの公式文献にはこれをはっきりと定義した文章はありませんが、これをいかに適用するかを示した唯一のドキュメントが決議23-34です。

決議23-34には「ロータリーとは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕-超我の奉仕の哲学であり、最もよく奉仕する者、最も多く報いられるという実践倫理に基づくものである」と具体的な補足説明がなされており、ロータリーの奉仕理念は、ロータリーの二つのモットーに示されたものと思われま

■ 社会奉仕とは

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地主義または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。

ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することです。この奉仕の理想の適用を実行することについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきました。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられます。

社会奉仕は、ロータリアンひとりひとりが「超我の奉仕」を実証する機会です。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもあります。

社会奉仕プロジェクトは、

- ・地域社会と関連していること。
- ・ロータリアンにとって学びの機会となること。
- ・地域社会におけるロータリー・クラブの役割を見出

すこと。

- ・現状の支援源をもってロータリアンがどのような援助をできるか判断すること。

社会奉仕の機会に関する項目

地域社会のニーズを特定するとともに、新しいクラブ奉仕プロジェクトを奨励し、すでに地域社会でロータリー・クラブが行っている活動の焦点を逸らさないため、RI理事会は、奉仕の機会に関する項目として次の9つの世界的な課題のリストを作成しました。

1. 危機下の児童

世界各地では、安全な水や食糧に事欠き、基本的な衛生設備や教育さえ無縁という生活を送っている子供たちが何百万人も存在します。このような子供たちのために、ロータリアンは学校の建設やポリオの予防接種を実施するなど幅広いプロジェクトに打ち込んでいます。

2. 障害者

全世界には600万人近くの障害者がいます。このうちのおよそ80%が、適切な医療や職業訓練に加えて雇用の機会も限られている発展途上国に住んでいます。ロータリアンは1913年以来、障害者が教育・雇用・基本的サービスを平等に受けられるよう支援するプロジェクトに力を注いできました。

3. 保健(医療)

毎年、何百万人もの人々がエイズやマラリアのような予防可能な病気で死亡しており、汚染された水から感染する病気や出産が原因で死亡する人々にいたっては、膨大な数となっています。ロータリークラブは、診療所の建設や整備を行ったり、先天異常のある子供たちを対象に手術を手配したりして、家族や地域社会を建て直すことに貢献しています。

4. 国際理解と親善

過去10年間に、武装紛争の犠牲となり命をなくした人々の数は世界中で何百万にも上り、何兆ドルもの財政負担も重くのしかかっています。ロータリークラブは、親善を推進し、地域社会と経済開発を改善する国際プロジェクトを実施することで、国際理解を広く支援しています。

5. 識字能力と計算能力

世界には、基本的な読み書きと計算能力の備わっていない人々が8億人余り存在します。ロータリアンは本の寄贈や学校の建設を行うほか、自らが個人教授となってこの問題に取り組んでいます。

6. 人口問題

飢餓、貧困、病気、環境破壊など、世界の問題の多くは人口動態を反映しています。ロータリアンは、これまで長年にわたり地域社会において、質の高い妊産婦医



療の提供、男女の平等と女性の自動自立の推進、職業技能と雇用機会の開発などに力を貸してきました。

7. 貧困と飢餓

1日1米ドル以下で暮らしているおよそ11億人の貧困者は、絶えず飢えと栄養失調に直面しています。ロータリアンは、それぞれの地域社会が自助自立できるよう、多数の奉仕プロジェクトを実施しています。その内容はマイクロクレジット(小口融資)プログラムの設置から貧困家庭に農業の訓練を提供するなど多岐にわたっています。

8. 環境保全

汚染、持続不可能な農耕法、劣悪な土地管理など、人類はとどまることなく環境を痛めつける行為を続けています。ロータリアンは、何年にもわたって、公園の建設から地域社会リサイクルプログラムの導入に至るまで、何千という環境プロジェクトを実施し続けています。

9. 都市問題

世界の都市人口は、2030年までにはほぼ50億人に達すると言われています。都市の拡大に伴い、十分な住居、雇用、安全な水、基本的な衛生設備の確保はますます難しくなる一方で、病気、失業や犯罪、ホームレスといった問題は確実に増えつつあります。ロータリアンは、家庭内暴力犠牲者のための避難所を設置したり、地域社会に花壇を造るなど、都市人口が直面する最も難しい課題に挑んでいます。

ロータリー地域社会共同隊(RCC:Rotary Community Corps)

ロータリー地域社会共同隊(RCC)は、ロータリーの奉仕に対する熱意を同じくする、ロータリアン以外の人々の集まりです。

提唱ロータリー・クラブの指導の下、献身的なRCC隊員は、地元地域社会における生活の質を改善するために自らの技能を生かして活動します。

(参考) 地域社会について

地域社会(コミュニティ)の定義は、その境界線を何処に引くかによって、大きく変わってきます。その境界線を市で引くのか、県で引くのか、国で引くのか。ボーダーレス社会だということは、国境がないということですから、地球全体を一つのコミュニティと考えれば、国際奉仕もコミュニティ・サービスの中に入ってくると考えざるを得なくなります。従って、社会奉仕は、国際奉仕も含めて考える必要があります。

社会奉仕の事例

人間尊重

① 社会的弱者への支援

身体障害者、精薄者、高齢者

親のいない子、一緒におれない子、一人親の子
外国からの子、定住者(識字率向上)

② 保健、衛生、長寿で健康

禁煙啓蒙、薬物濫用防止、HIV(エイズ)、メタボリック症候群、癌予防(講演、ポスター、チラシ)、献血

③ 子育て支援

- ・幼稚園、保育所、学童保育
- 読み聞かせ、あそび、紙芝居、偉人の話
- ・子ども会、若い親たち、不登校児
- 親子でハイキング、運動会、写生、工作、絵画展、合唱、スポーツ、農園、いもほり、花づくり、声かけ運動、夜廻り隊

④ 社会治安の向上をめざす

犯罪防止:万引、窃盗、強盗(貼紙、ポスター、学校講話)
家庭内暴力:子供虐待、DV(通報連絡先を衆知)
街頭犯罪:暴力、不良行為(子供見守り隊、警察官の講話、有害図書・映像・ゲームの追放)

⑤ 才能ある人の発掘、支援

数学、科学、作文、美術、音楽 ⇒ コンクールにより
スポーツ・・・実績により
弁論・・・大会を開く

⑥ 文化活動で心豊かな人を

美術展覧会、音楽会開催、モニュメント製作寄贈、陶器づくり展示、チャリティー、舞踊、ダンス大会、ファッションショー、街の花壇づくり、菊、バラ、チューリップ等をつくって展示、各種スポーツ大会支援

⑦ 災害に備える

地震、火災、豪雨洪水(講話、研修、訓練、備品整備)

地域発展

① 産業育成

・人材確保と育成 ・特産品奨励 ・教育(農林水産、工業、商業分野)・学校誘致 ・職場訪問・体験・受入れ ・人材育成

② 観光の街づくり

歴史学習・案内板、マップ作製・郷土の偉人銅像・記念碑建立・ガイドの養成(日本語・英語)

③ 街並整備

街路樹、花壇造り・遊歩道の整備、公衆トイレ・ゴミ容器の清潔保持

環境保全

① 山、野の植樹・森林の育成

特に広葉樹でCO₂を減、酸素を増やす

② 河川の清掃・魚や蜃の棲む清流に

③ 街路の清掃

街路樹の手入 撒水で砂塵防止 騒音防止(防音壁)



④歩行者天国

自転車専用道

⑤クリーンエネルギー

雨水タンク ソーラーシステム 風力発電 電気自動車 (エコ・カー)

②街頭キャンペーン

募金活動、献血運動、禁煙運動、交通安全、防火・防災、青少年補導、警察補助員活動

③国際交流

日本語教室、外国語教室、各国料理教室、スポーツ大会、弁論大会、舞踊大会

協同奉仕

①協同

インターアクト・ローターアクト・ロータリー地域社会共同隊



嶋田社会奉仕委員長



忽那 美穂子さん (若者自立支援の会 ラポール代表)



打上げ旅行優勝ゴルフトロフィー 助川会員、勝田前会長



出席委員会報告 東海林会員

ゲスト

忽那 美穂子(若者自立支援の会 ラポール代表)

ニコニコ BOXありがとう!

★ 写真ありがとう!

田代会員、増谷会員、岡島会員、金本会員

★ (^^)

娘の披露宴が無事終わりましたクレストの皆さん

お世話になりました 塚本会員

卓話眠くならないように祈って 嶋田会員

嶋ちゃんに美味しい野菜ありがとう 飯合会員

出席報告

会員数 59名

欠席者 13名

江口、太田、ゲイビ、後藤、小林(太)、小林(正)、
渋谷、杉山、住田、染谷、富士川、升谷、丸山
各会員

出席率 77.97%

次回の例会は8月1日(金)通常例会です。

クラブ会報委員/水留 茂之・浅野 肇・渋谷 修・太田 豊
住田 みゆき

欠席報告は、水曜日の正午まで

※食事の無駄をなくす為に協力して下さい。
クレストホテル(営業課) 04-7146-1122まで



(2014～2015年度 RIのテーマ)

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業が高潔なものとする。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2. 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行なうこと。
4. 他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げる。
7. ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切に、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?